

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公開番号】特開 2002-90461 (P2002-90461A)

【公開日】平成 14 年 3 月 27 日 (2002.3.27)

【出願番号】特願 2000-280279 (P2000-280279)

【国際特許分類】

G 0 1 T 1/20 (2006.01)

G 0 1 T 1/02 (2006.01)

G 0 1 T 1/24 (2006.01)

H 0 4 N 5/32 (2006.01)

H 0 1 L 27/14 (2006.01)

H 0 1 L 31/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 T 1/20 E

G 0 1 T 1/20 H

G 0 1 T 1/02 B

G 0 1 T 1/24

H 0 4 N 5/32

H 0 1 L 27/14 K

H 0 1 L 27/14 Z

H 0 1 L 31/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 7 日 (2007.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 基板上に、光電変換素子及び T F T が二次元に配列された光電変換基板を有する放射線撮像装置において、前記光電変換基板の光電変換素子が配置されない隅部に放射線量を測定する放射線量測定素子を有することを特徴とする放射線撮像装置。

【請求項 2】 前記放射線量測定素子は、光電変換基板の 4 隅に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の放射線撮像装置。

【請求項 3】 前記放射線量測定素子は、前記光電変換素子及び T F T と同一材料で構成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の放射線撮像装置。

【請求項 4】 更に、放射線を光に変換する波長変換材料を有し、前記放射線量測定素子上に前記波長変換材料が配置されたことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の放射線撮像装置。

【請求項 5】 前記光電変換素子より前記放射線量測定素子の光電変換素子の方が面積が大きいことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の放射線撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

## 【課題を解決するための手段】

本発明の目的は、基板上に、光電変換素子及びＴＦＴが二次元に配列された光電変換基板を有する放射線撮像装置において、前記光電変換基板の光電変換素子が配置されない隔部に放射線量を測定する放射線量測定素子を有することを特徴とする放射線撮像装置によって達成される。